



Be fearless ~伝統と共に煌めく未来へ~

始業式・入学式の式辞の内容から

【始業式】

始業式では、学校スローガン「誇り高く夢を道しるべに、凜と煌めくなりたい自分をつくる」を紹介して、皆さん一人ひとりが山口中村学園高等学校の主役、主人公であり自分に誇りをもって、様々な活動に一生懸命、全力で取り組もう。そうすることで、家族や友達でさえ想像し得なかった「未見の我」が現れてきて、その凜とした煌めきをもって、学校を一層輝かせていきましょう。そのためには、No guts no glory. 根性や気概がなければ、何も実現しないし、栄光は掴めない。「世間は努力の前に頭を垂れる」の言葉があるように、努力は必ず何らかの形で報われる。と述べました。

また、学校は家庭とは異なり、多くの他人が集団生活をする場であり、ルール、マナー、エチケットを意識して行動しましょう。そして、「己(おのれ)の欲(ほっ)せざる所(ところ) 人(ひと)に施(ほどこ)すこと勿(なか)れ」表現を変えれば、「自分のしてほしいことを、他者にしましょう」誰もが安心して仲良く楽しく生活することができますと語りました。

ただ、様々な不安や悩みが出てきたら担任の先生や、話しやすい先生にすぐ相談してください。先生方は皆さんの、応援団、サポーターであり親身に相談にのってくださいます。

この1年が素晴らしいものになるように頑張っていきたいと思います。

【入学式】

入学式の式辞の中では、次の内容を話しました。一年生は記憶にあると思いますが、2、3年生には初めての内容になります。

本校は159年目を迎え、女生徒のための教育機関から共学化し、校名も山口中村学園高校として再出発をします。皆さんは第一期生です。これまでの歴史と伝統を引き継ぐとともに、私たちと共に新たな歴史をつくり加えていきましょう。

学校という場は、将来社会的に活躍・貢献するための力をつけるための「**学びの場**」であるばかりでなく、自分自身をクエスト探求し、自分は一体何者なのか発見する「**冒険の場**」であり、夢・志・目標の実現に向けてチャレンジする「**挑戦の場**」でもある。主体的に学び、自ら鍛え磨いていきましょう。その際、学校の校訓「質実、敬愛、勤勉」を説明しつつ、意識して行動するよう語りました。続けて学校スローガンの紹介を行い、世界に唯一無二の存在としての自分を大切に、他者にも優しく、心ある大人を目指すとともに、夢・志・目標の実現に向けて直向きに努力していきましょう、その過程で誰も予測し得なかった、素晴らしいオンリーワンの「未見の我」が現れてきます。あたかも「桜梅桃李」の言葉にあるように、豊かな個性が咲き誇り、学校が一層輝きを増します。共に頑張っていきましょう。

皆さん1年後、2年後、3年後の自分と今現在の自分を比較すると、人間的に成長したと実感できるように、学習や様々な活動に一生懸命、全力で取り組んでいきましょう。

人間のプロになる

プロゴルファーの杉原輝雄氏は次の様な趣旨のことを述べておられます。

人は皆、生まれたときから「人間のプロ」になるという使命を担っているのではないか。

人間であれば心があり、あいさつもするし、相手への思いやりも当然もっている。

何も特別なことは必要なく、当たり前のことを当たり前に行えるようになれば、その人は人間として立派なプロなのだ。

日常生活のABCということも言われます。

A あたりまえのことを

B ぼんやりしないで 又は ばかにしないで

C ちゃんとする

集団生活においては、下のことも意識しましょう。

時を守り（時間を守る）

場を清め（掃除を一生懸命にする）

礼を正す（敬愛をもって人に接する。TPO似合わせた言動ができる。）

心を育み、脳を活性化する読書

スマホやタブレットの時代で、それらの機器を使って知りたいことが簡単に素早く調べられますが、読書を通して得られるものは、知識だけでなく、様々な得がたい貴重なことがあります。言葉、語彙(ごい)、表現の仕方、ものの見方、考え方、生き方などです。

読書最も能(よ)く人を移す。

畏(おそ)るべきかな書や。

吉田松陰

「読書は、人間を大きく変える(成長させる)力があるものだ。

本の力は偉大である。」という意味です。



『好奇心を“天職”に変える空想教室』 植松 努 著 サンクチュアリ出版

自己肯定感、自尊感情を高める本だと思います。読み進めるごとに自分に対する誇りが高まり、何かに本気で取り組みたいと思えるようになります。また、人生のあるいは生き方の知恵がたくさん詰まっています。中学生や高校生に向けたエールでもあると思います。自分を大切に、生きる本質、学ぶ本質をわかり易く飾らずに語られています。